

対象	小学校高学年以上
教科	食育 ・ 家庭科
該当 单元	小学6年家庭科 「共に生きる生活」 食育 ・ 食育基本法より
教科書	開隆堂等
掲載日	2017. 10. 15. 朝刊岐阜近郊総合版



NPOなど 岐阜でセミナー

子ども食堂普及へ 取り組み事例紹介

地域の子どもたちに無料や低料金で食事を提供する「子ども食堂」の普及拡大を図るセミナーが十二日、岐阜市数田南のOKBふれあい会館であった。NPOや行政の福祉担当者ら七十人が、先行的な取り組みからノウハウを学んだ。

(秋田佐和子)

子ども食堂の設立や「食堂ぎ」ネットワークを本営に必要とする。代表の宮崎孝司さん、法を共有してもらおうと、県が主催。子ども食堂の普及拡大を図るセミナーが十二日、岐阜市数田南のOKBふれあい会館であった。NPOや行政の福祉担当者ら七十人が、先行的な取り組みからノウハウを学んだ。

今年四月に美濃加茂市内で「かもの子ども食堂」を立ち上げた市民生委員児童委員協議会会長、木沢収平さん(左)は、設立の経緯や苦労した点を紹介。「安全安心なおいしいものを食べてもらうために、衛生に関する勉強もした」と話した。県は、子ども食堂の運営を支援するため、本年度から補助制度を創設した。

かもの子ども食堂の取り組みについて説明を聞くセミナーの参加者

岐阜市数田南で

問1：「子ども食堂」とはどのようなものですか。

()

問2：美濃加茂市民生委員児童委員協議会が立ち上げた「子ども食堂」は、何という

名前の食堂でしょう。

()

問3：美濃加茂市民生委員児童委員協議会会長の木沢さんによると、「子ども食堂」

立ち上げで苦労したことはどんなことでしょう。

()こと

発展：あなたは、「子ども食堂」が普及していくためにはどんなことが重要だと考え

ますか。仲間と話し合みましょう。

自分の考え：

仲間の考え：

【活用にあたって】

食育基本法には「食育はあらゆる世代の国民に必要なものであるが、子どもたちに対する食育は心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである」と記されています。児童・生徒自身が食育について理解を深めることが重要ですが、学ぶ機会は少ないように思います。ぜひ、こうした記事を活用して学んでいただきたいです。

小学6年生の家庭科「共に生きる生活」という単元が扱いやすいのではと考え設定しましたが、特別活動(朝の会・帰りの会等)や総合学習の時間を使って、また中学校・高校などでもそれぞれの目的に合わせて活用できると思います。

解答例

問1：地域の子どもたちに無料や低料金で食事を提供する
取り組み

問2：かもの子ども食堂

問3：(安全安心においしいものを食べてもらうために、
衛生に関する勉強もした) こと

発展：このセミナーの講師、宮崎さんの話を参考にするな
どして自分たちなりの結論が出せると良いです。